

漁海況情報

第585号（令和3年3月15日）

発行：山形県水産研究所 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
 TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
 ホームページ：http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/

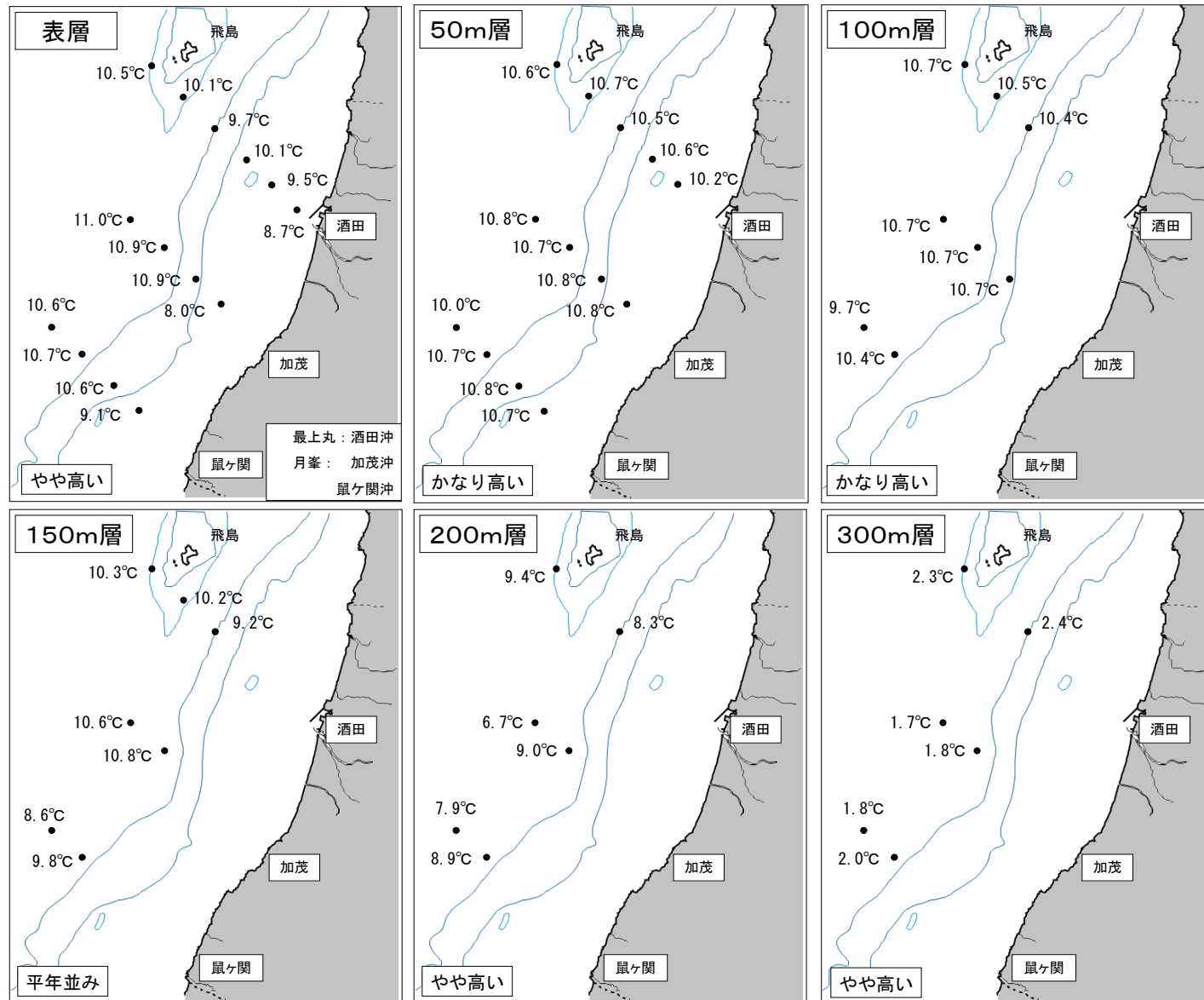
- ・庄内総合支庁水産振興課「月峯」と水産研究所「最上丸」は、それぞれ3月1日と5日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果、表層、200m層および300m層は「やや高い」、50m層および100m層は「かなり高い」、150m層は「平年並み」でした。
- ・2月の地先水温は、鶴岡市加茂（水産研究所）、鶴岡市三瀬（栽培漁業センター）ともに「平年並み」でした。
- ・2021年1月から2月の寒ダラ漁獲量は163トン（過去20年平均比66%）でした。2月に時化が多く、出漁出来ない日が多かったことが平年を下回っている要因と考えられます。

各層別の平均水温(3月上旬分観測値)

単位:°C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	10.1	10.6	10.5	9.9	8.4	2.0
前年差	-0.7	-0.3	+0.4	+1.8	+3.2	+0.4
平年差	+0.7	+0.7	+0.8	+0.5	+2.0	+0.3
評価	やや高い	かなり高い	かなり高い	平年並み	やや高い	やや高い
(前月評価)	(やや高い)	(かなり高い)	(かなり高い)	(やや高い)	(平年並み)	(平年並み)

評価の表現：“平年並み”は約2年に1回、“やや”は約4年に1回、“かなり”は約10年に1回、“はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水温(2月)

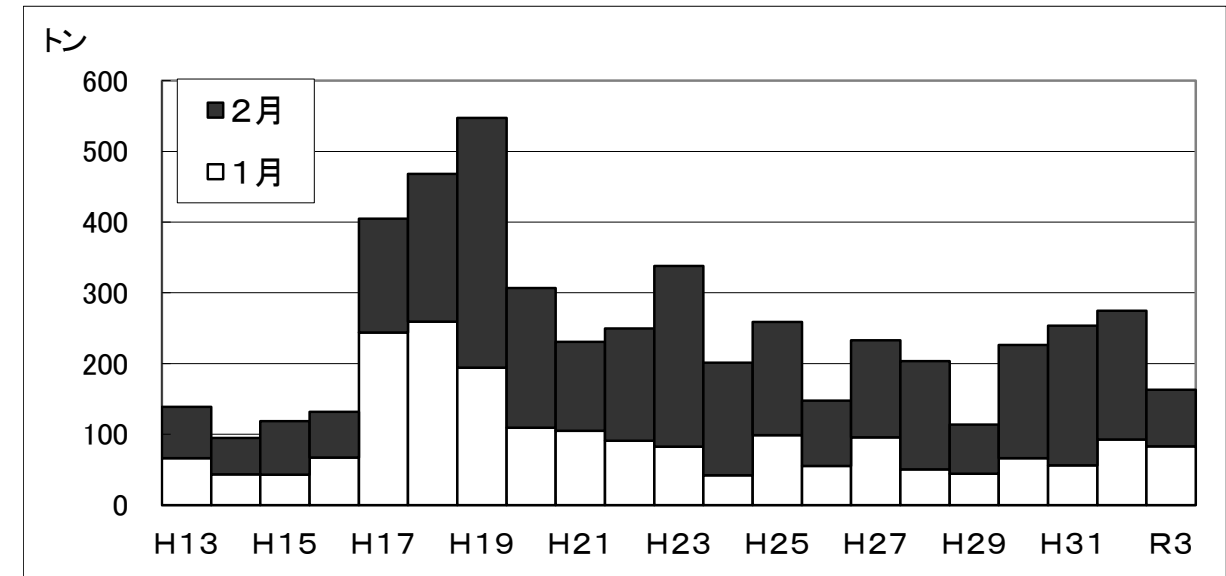
単位:°C

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産研究所(鶴岡市加茂港内)	7.6	-1.5	-0.1	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	9.4	-1.3	+0.3	平年並み

寒ダラ漁のまとめ (『甘子』銘柄は含みません)

1. 漁獲状況

1～2月の漁獲量は163トンで、前年比59%、過去20年平均比66%でした。



2. 旬別・累積漁獲状況

旬別の漁獲量は、1月中旬、下旬および2月中旬は平年並みで、1月上旬、2月上旬および下旬は平年を下回りました。

累積漁獲量は過去20年平均を下回りました。

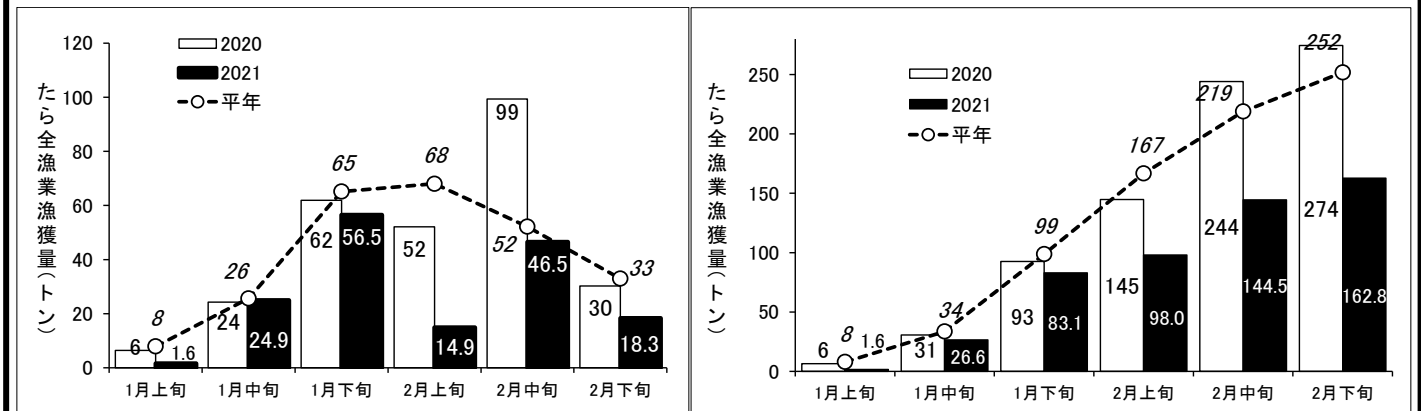


図 マダラ旬別漁獲状況(左:旬別漁獲量、右:累積漁獲量)
 ※平年は旬計・累計ともに過去20年平均(2001-2020年平均)

2月の漁況

- ・2月は時化が多く、延べ操業隻数は557隻で前年比70%、総漁獲量は175トンで前年比59%でした。
- ・底びき網漁業の延べ操業隻数は161隻で前年比62%、漁獲量は146トンで前年比56%でした。タイ類、アンコウ、ノドグロ(アカムツ)およびタコ類は前年を上回り、ヒラメ、ハタハタ、ホッケ、マダラ、紅エビ(ホッコクアカエビ)、ズワイガニ、ヤリイカおよびサメ類は前年を下回りました。
- ・はえなわ漁業の延べ操業隻数は59隻で前年比72%、漁獲量は1.7トンで前年比35%でした。ノドグロ(アカムツ)およびトラフグ以外のフグ類は前年を上回り、サメ類、タコ類およびトラフグは前年を下回りました。
- ・その他の漁業では、いか一本釣漁業のスルメイカ、さし網漁業のヤリイカ、採貝藻漁業のサザエおよび張網漁業のマダラは前年を上回り、さし網漁業のマガレイ、採貝藻漁業のアワビ、ナマコ、ノリ、かご漁業のタコ類および張網漁業のヒラメは前年を下回りました。

* 前年比は平成28～令和2年までの平均値と比較した値です。
 * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
 * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	24	120	96	27	74	39	21	156	557	75%	70%
総漁獲量	8,283	4,656	38,350	567	40,947	14,856	647	66,215	174,521	53%	59%
前年比	39%	67%	41%	80%	69%	65%	732%	54%	53%		
前年比	43%	54%	51%	44%	83%	69%	173%	56%	59%		

底びき網漁業

支所	吹浦	酒田	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	10	22	38	20	71	161	65%	62%
タイ類	47	4,431	317	282	5,444	10,522	113%	156%
ヒラメ	300	54	320	258	707	1,640	145%	71%
カレイ類	243	165	1,565	673	2,741	5,387	88%	97%
ハタハタ	69	108	4,654	4,527	7,402	16,761	29%	35%
ホッケ	31		55	61	80	227	41%	6%
アンコウ	712	448	1,362	253	1,980	4,755	190%	133%
ウマヅラハギ	6	1,165	115	574	185	2,044	111%	115%
ノドグロ(アカムツ)	51	1,224	410	218	294	2,198	226%	171%
マダラ	1,826	12,837	25,091	6,701	31,124	77,578	43%	52%
紅エビ(ホッコクアカエビ)	48	99	244	39	5,021	5,451	63%	75%
ズワイガニ	20	5	3	1	69	98	96%	8%
ヤリイカ	165	424	699	209	2,679	4,175	374%	75%
タコ類	81	58	193	161	652	1,145	124%	125%
サメ類	693	510	1,673	227	2,004	5,106	121%	46%
その他	349	2,122	1,331	328	4,410	8,540		
計	4,640	23,649	38,032	14,514	64,791	145,626	52%	56%
前年比	28%	37%	68%	65%	53%	52%		
前年比	29%	39%	84%	70%	56%	56%		

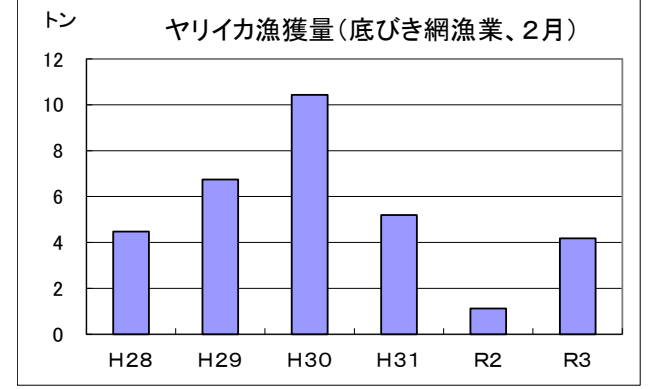
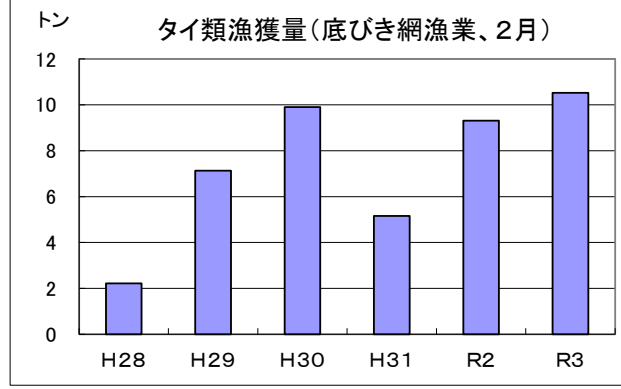
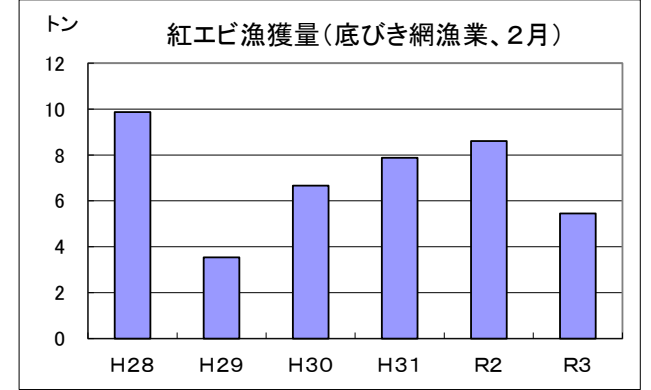
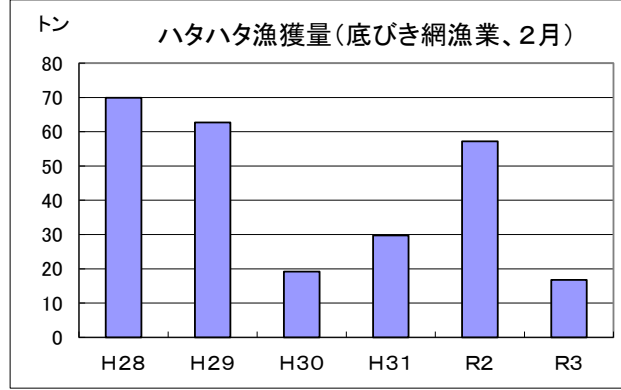
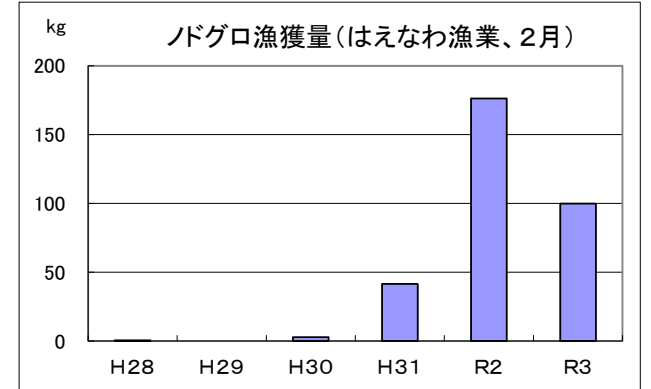
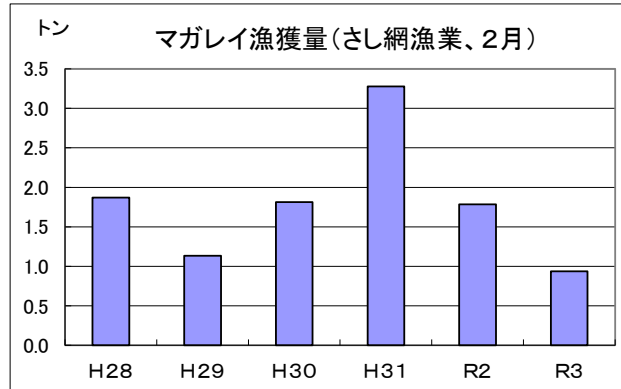
その他の漁業

漁業種類	いか一本釣漁業	さし網漁業	採貝藻漁業					かご漁業	張網漁業		
延べ操業隻数	64	52	124					30	7		
漁獲量		2,208	2,186						4,289		
前年比		54%	106%						85%		
前年比		59%	71%						123%		
主な対象魚種	スルメイカ	マガレイ	ヤリイカ	アワビ	サザエ	ナマコ	ノリ	タコ類	ヒラメ	ヤリイカ	マダラ
漁獲量	15,765	938	569	412	1,270	495	4	1,769	60	317	3,104
前年比	115%	53%	61%	166%	167%	75%	15%	62%	26%	148%	100%
前年比	150%	47%	185%	66%	171%	45%	3%	73%	35%	87%	199%

はえなわ漁業

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	10	2	3	12	3	7	22	59	81%	72%
タイ類				9		287	325	620	97%	106%
ノドグロ(アカムツ)		1		17			82	100	57%	226%
サメ類	57							57	409%	8%
タコ類			77	101	39			216	32%	29%
トラフグ(※)	60				11		13	83	361%	59%
その他フグ類	83	5		168		56	143	454	129%	134%
その他		15		42	5	38	50	149		
計	199	21	77	336	54	380	612	1,679	69%	35%
前年比	609%	20%	25%	92%	20%	722%	47%	69%		
前年比	92%	1%	22%	49%	14%	135%	74%	35%		

※平成28年以前は「ふぐなわ漁業」のフグ類を「トラフグ」としています。



最上丸の調査予定(3月中旬～4月上旬)

- ・海洋観測を行います。
- ・底びき網調査(紅エビ)を行います。
- ・サケの稚魚調査を行います。

みなさま、調査への御理解と御協力よろしくお願ひします。

